



京 都 丹 波 オレンジロード つなげ隊 隊 員 だ よ り

第 13 号

京都丹波つなげ隊員登録者・・・56名
(R4.7月末現在)

7月14日、全体企画会議を開催しました！



『京都中部総合医療センター 認知症看護認定看護師 特定看護師 眞継 美貴 氏』を講師にお招きし、“認知症のある高齢者へのかかわり方”について、講話をいただきました。

認知症を発症することは、コミュニケーションの障害となり、見聞きする情報を整理し、人に伝えることが難しくなります。そうすると、不安と恐怖を感じるようになってしまいます。様々な場面での接し方について、具体例を用いお話をいただきました。また認知症の人のできることを奪わない、持っている力を大切にすることが重要であること、外来でのご経験も交えお話いただき、つなげ隊の今後の活動に生かしていける有意義な時間となりました。

意見交換の時間には、講話への質疑応答、各市町や隊員さんより3年度の活動実績や4年度の活動計画について話し合っていました。長引くコロナ禍で、対面での活動を制限しながらも、感染対策に配慮しながらできる啓発活動を模索し、実行に移していこうという前向きなご意見を多くお聞きすることができました。互いの活動から、刺激を受け、活発な意見が交わされていたと感じます。

また、講師の眞継氏へ、自身の体験や医療現場とのつながりの持ち方などの質問もありました。普段なかなかない機会になったのではないのでしょうか。



新型コロナウイルス感染症の第7波が拡大しつつある時期でしたが、参加いただきました皆様、ありがとうございます。また、この度参加することができなかった皆様へは、会議終了後に「会議報告」を送付しておりますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

オミクロン株の亜種が次々として出てくる中ですが、それらの特性を踏まえ、感染対策に配慮しつつ、令和4年度は、対面での啓発活動を復活していきたいものです。

夏

啓発グッズ『うちわ』ができました！



暑中お見舞い申し上げます。

猛暑の日々が続いています。新型コロナウイルス感染防止対策と同時に熱中症予防にも気をつけなくてはならない季節です。

平成31年度にも作成した啓発用のうちわが大好評でしたので、再度作りました。

うちわで涼をとりながら、ふと手を休めたとき、うちわに目をやること多くありませんか？うちわをみていただくことで認知症のことを知ってもらったり、自身や家族のことで「認知症かも？」と不安を感じている方が、一歩踏み出すきっかけになるのではないのでしょうか。

例年9月頃まで暑さも続きます。この夏の啓発活動にぜひ活用ください。

なお、数に限りがありますので、必要の際はご相談ください。



白地に持ち手・骨 イラスト、

文字はオレンジ色

ふくろうのハートは緑色



白地に濃淡の
オレンジ色、緑
黒の文字

「記憶とつなぐ～ある写真家の物語～」写真パネル事業

若年性認知症本人である下坂 厚氏の「写真展『記憶とつなぐ～ある写真家の物語～』」で使用された写真パネルの貸し出しが京都府こころのケアセンターで始まりました。

9月のアルツハイマー月間に向けて、府内各所で展示できるよう準備が進められています。

【問い合わせ先：TEL0774-32-5886】

※詳細は7月中旬の送付の案内文をご確認ください。

オレンジカラーの歯ブラシが好評で多く活用いただいています。この度、追加注文し

ました。こちらもアルツハイマー月間など、ご活用ください。



南丹保健所 保健課 地域包括支援係
豊島・中西
TEL：0771-62-3260
FAX：0771-63-0609